

図書館のすすめ

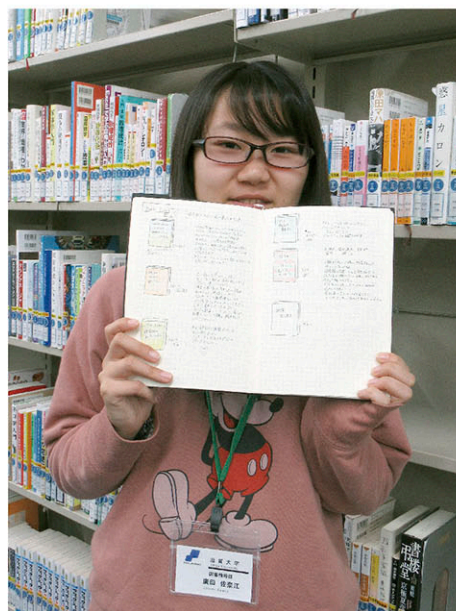
経済学部 3回生 廣田 佐奈江

図書館って目的の本を借りたり、テスト勉強をするためだけの場所だと思っていませんか？実は私も高校生まではそうだと思っていました。

ところで、図書館のゲートを通してすぐ目の前にある壁に「書林浴」という言葉が、解説とともに飾ってあります。この言葉に込められているのは「書物に囲まれ、それらが発しているイオン（もしくは気）を浴びて癒しや知的エネルギーを受け止めてほしい」というメッセージです。この言葉を知る前から図書館を利用することが少なかったわけではないのですが、授業用の参考書を借りるために利用することが多かったです。

しかし、「書林浴」という言葉に出会ったことによって、目的もなく歩き回るようになったのです。おかげで、関心のなかった分野の本棚に物凄く興味をそそられる本が隠れていることや、図書館は本を借りたりテスト勉強をするためだけの場所ではないことに気づきました。本との出会いがあるのも図書館の魅力だと私は思います。

この経験が本を読むきっかけになることもあるので、普段本を読む方も読まない方もぜひ図書館へ足を運んでみてください。



廣田さんの読書ノート。
タイトルのイラストとともに
感想をつづっています。
こんな風に記録しておく
楽しいね！

教員や学生の皆さん
図書館スタッフからの
推薦図書を表示しています。

